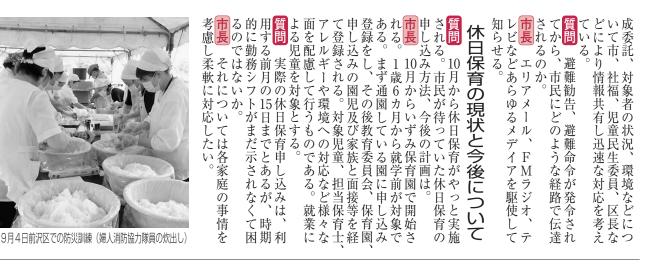
防災計画の見直し・体制の一極化後の対 応について



れ社会福祉協議会に作 3・11以降に「要支援 日でいるか。 市長 作成中である。 である。 で である。 被害を最少 ĺC す





地 議会の要望 Π



あり、 設計画 域協議会の意見も十分取り入れ決定し 画となる。 市長 しょ ていく。 は合併特例債を活用しての計画が主で 年から37年までの10カ年となる。 の意見を踏まえ、今後どう対応するか。 議会では意見を付して承認された。こ 諮った。水沢区を除いて4区の地 頁問 Ţ 意見をもらう部分もあると思う。 総合計画に組み入れた形での計 変更後の新市建設計画は平成28 合併特例債の活用を含め新 [の変更を5区の地域協 必要であれば事業の登載につ 計画策定にあたっては、 議 計画 地域協 会に 市 地 建

LCの宣伝活動と準備室設置は

か。 してはどうか。 また準備室設置に江刺総合支所を活 流プラザ」を活用して宣伝してはどう 室設置に向け検討する時期ではないか。 市に設置された。 め新幹線水沢江刺駅構内の 質問 また、「東北ILC準備室」 国際リニアコライダー誘致 奥州市としても準備 「南岩手交 一が仙 の 用 台 た

Ś 準備室設置ついては個別の取り組みを 在、 壁に投影する方法で宣伝していく。 物産を含めた奥州市を紹介する映像を 市長 支所も含め検討していく。 検討する中で時期、 プラザ」の入口南側にILCと観光、 設置すべきとした場合、 技術的な詰めの協議をしている。 平成28年度事業で 場所を判断して 「南岩手交流 江刺総合 現 い

